

も い 森 林 の 話

第14話

留萌南部森林管理署

橋本 夏苗

採用二年目の若手職員のコーナーです

そこで今回は、森林の中のきのこについて、その役割や特徴について紹介していきます！と思います。

皆さんは、きのこに対してどのようなイメージを持たれているでしょうか。私が自己紹介などで「きのこに興味があります」と伝えると、大抵、「このきのこは食べられるのか、食べられないのか」という質問をよくされます。

確かに、食物としてのきのこも十分魅力的で、汁物



ドクツルタケ

森林に入り、その中を歩くととき、皆さんは何に興味を惹かれるでしょうか。樹木、鳥、花：その対象は十人十色、さまざまにあると思います。私の場合、その対象は「きのこ」です。

に入れてたりするととても美味いですよ。

しかし、それはきのこのほんの一面に過ぎず、森林の中のきのこは実に多種多様な役割を担っています。人間にとっては食べられないきのこでも、樹木にとってはなくてはならない存在になることがあります。

例えば、ドクツルタケはその名前の通り人間にとっては毒で、とてもきれいな見た目とは裏腹に、英名では「破壊の天使」と名付けられるほどの猛毒の持ち主です。

一方で、樹木とこのきのこは、共生関係になることがあります。樹木にとって厳しい生育環境である場合、土の中できのこが栄養のやり取りをおこなうのです。

反対に、人間が食べられるきのこであっても、樹木にとっては好ましくない相手になることもあります。ナラタケ（別名：ポリポリ）は、食べられるきのことして知られていますが、ナラタケ病という樹病の一



ナラタケ

種でもあります。私たちがらすれば、より多くのナラタケが生えていたらうれしかもしれませんが、樹木にとっては厄介なことになります。

また、きのこの中には、ユニークな特徴をもつものが多くあります。

例えば、ロクショウグサレキンは、木材をきれいな緑青色に染めます。この独特な色合いを活かして、染物にも利用されています。



ロクショウグサレキンにより青く染まった木材

ホコリタケは、その名の通り「ホコリ」を飛ばして子孫を増やします。このホコリの正体は胞子で、外から衝撃が加わると、穴から胞子がポワッと飛び出します。他にも、倒木や切り株を分解するといったはたらきも

あります。

このように、きのこは食べられる、食べられないに関係なく、とてもバラエティに富んだ個性を持っています。

ここでもうひとつ強調しておきたいのは、きのこの出会いは一期一会だということです。

皆さんが目にしたきのこが明日も同じ場所にあるとは限りませんし、来年の同じ時期に見られるとも限りません。一晩でなくなってしまうものもありますので、森林に足を運んだときに、もし、きのこに出会えたのなら、どんなきのこでもスルーせず少し関心を持ってみてください。これまでとは一味違う森林の楽しみ方ができるかもしれません。